



2023年9月26日
第40号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

「2023年3月ダイヤ改正検証に関する 申し入れ」(申7号・国府津運輸区) ③

【車掌】

1. 次の行路の拘束時間の改善をはかること。(平平11、平平12、平休10、休休14、休平12)
2. 熱海泊行路数を3行路から2行路とし、1行路は小田原泊または国府津泊とすること。
3. 特急列車は入線からの準備時間を10分以上確保すること。
4. 休1行路の1535E小田原着後の便乗を1839Eまたは1537Eとすること。
5. 平3行路の熱海場面で733M~1850Eの乗り継ぎ時間が短いので、組み替えること。
6. 休3行路の出退勤時間をなるべく平3行路に近づけること。
7. 休14行路の東京から新宿への便乗電車は、食事時間の確保を目的として、直近電車で設定すること。
8. 15行路の休日の夕食時間を拡大すること。また、平休の渡りの睡眠時間が少ないため、担当列車を変更すること。
9. 17行路の平日の夕食時間確保のため、2858Y新宿着後の便乗までの間を1時間確保し、その後東京までの便乗とすること。また、平日明けの小田原において、1535Eから1858Eまでの乗り継ぎ時間が長いため、持ち替えにより解消すること。
10. 休18行路明けの、小田原における4821Yから1866Eまでの乗り継ぎ時間が長いため、持ち替えにより解消すること。
11. 平19行路で6089M運転日の睡眠時間が極端に少ないため、改善すること。
12. 平20行路は、3036M東京着から次列車3075Mまでの時間が短いため、行路を改善すること。
また、3075Mは入線からから発車までの時間が短いため、改善すること。
13. 21行路は睡眠時間が少なく、明けが長いため改善すること。
14. 22行路の平日明け熱海場面において、1837Eから1864Eまでの乗り継ぎ時間が長いため改善すること。

交渉日程は決まり次第、情報でお伝えします！